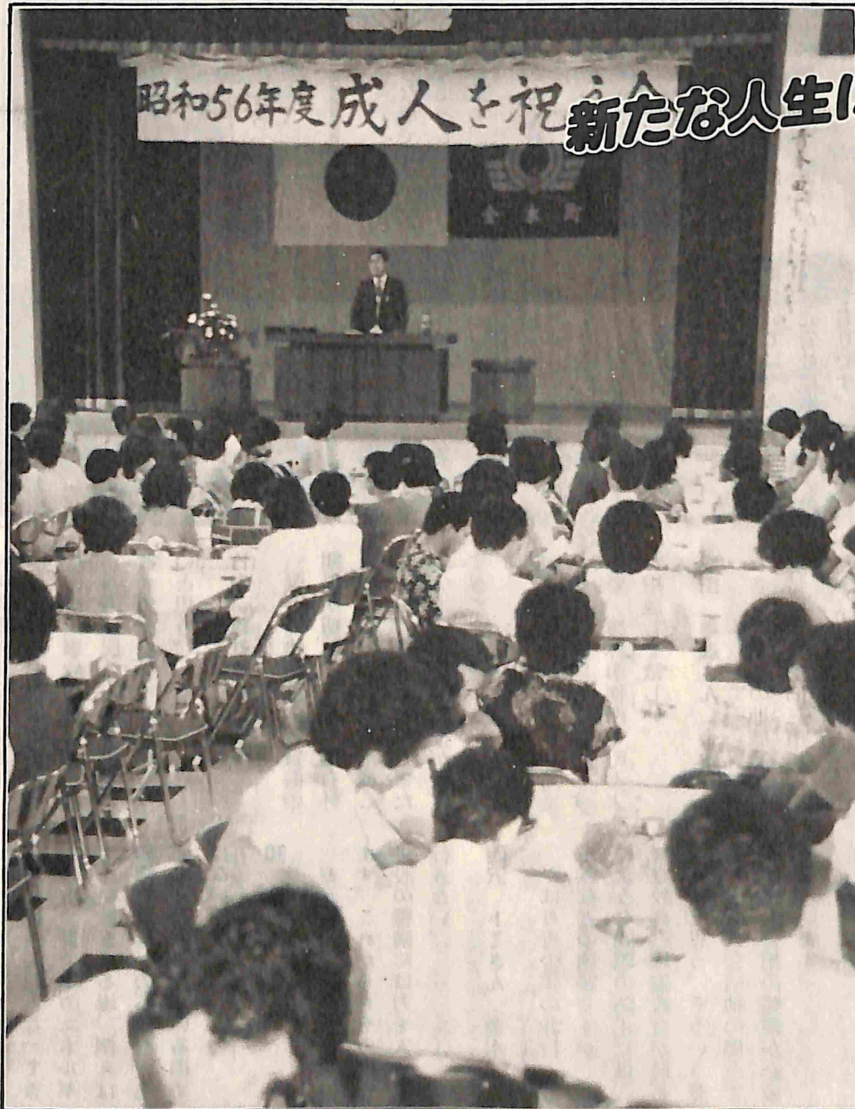


昭和56年 8月号

# 金木 だより

発行 金木町役場 編集 企画室



八月十五日、中央公民館で昭和五十六年度の成人を祝う会が盛大に行われました。

この日成人を迎えたのは男女合わせて二百三十五人。式典では、田中町長らがお祝いや励ましの言葉を述べ記念品を贈呈、成人を代表して、田中二紀子さんが謝辞を述べました。

このほか、記念講演や記念写真撮影及び植樹などが行われ、新たな人生のスタートに胸をふくらませていました。

## 町の動き

▼7月

12日(日) 芦野団地運動会  
(芦野グラウンド)

19日(日) 女性バイク競技会  
(金木自動車学校)

20日(月) 消費生活移動センター(中央公民館)

21日(火) 夏の交通安全運動パレード

23日(木) 第34回北郡社会福祉大会(中央公民館) 賽ノ川原地蔵尊大祭

24日(金) 賽ノ川原地蔵尊大祭

26日(日) 交通安全大学(中央公民館) 交通安全祈願モチつき大会・カラオケ大会(中央公民館)

## 町の人口と世帯数

男女計	7,197人
人口	7,411人
世帯数	14,608人
	3,857世帯

(S.56.7.31日現在)

# 語るつどい

第三十一回「知事と語るつどい」が去る八月十二日午後二時から中央公民館大ホールで開催され、米価や転作、青少年問題などについて活発な意見が交されました。このつどいには県側から北村知事、藤川企画部長、北地方農林事務所長など各出先機関の長、地元からは田中町長、花田、原田両県議会議員、選ばれた地域住民十八人の総勢四十人が出席しました。

はじめに北村知事が「皆さんの意見を行政に反映させると同時に、行政をもっと身近なものに感じとっていただきたい」とあいさつ、そのあと懇談に入りました。質疑応答の要旨は次の通りです。

## 司会

このような場ですが、ざつとばらんにどしどし発言をお願いします。

鳴海 浄さん(嘉瀬)

りんごのわい化栽培の奨励を雪の深い地域や浅い地域の区別なく進めてほしい。又、りんごの消費拡大のために健康食品としてのイメージを、前面に押し出して宣伝すべきだと思いますが……。

## 知事

わい化栽培、無袋化などはコストを下げる為には必要ですが、現在のところ、やはり雪の少ない県南地方にわい化を奨励している。しかし、これからは区別なく県全域にわたって奨励し

て行きたい。又、健康食品としてイメージアップすることは非常に同感である。

泉谷 佳正さん(川倉)

葉たばこの主産地形成についてお聞きしたいのです。

## 知事

葉たばこ栽培面積の拡大については、今後もどんどん専売公社に働きかけて行つつもりです。

毛内 英文さん(嘉瀬)

最近、高校生によるバイクの事故などが多発している状態ですが、免許取得年令の引き上げ等を検討してみてはどうか。

## 知事

免許取得年令の引き上げは、私の権限では決められないが、事故防止にはこれからも住民みんなが真剣に考えて行かなければならないと思う。

竹内 義就さん(藤枝)

既存の牧草地の賃貸借の期限が切れるため、国有林を活用して牧草地を造成したいが、適地がなく、また幼令木補償など負担が大きすぎて……。

## 知事

切実な問題だと思いますので、農林事務所や町とよく相談して欲しい。

成田 亀逸さん(金木)

老人クラブの地域活動促進特別事業を旧三市に限定しているのはどういうわけか。町村にも力を入れられないものか。

## 知事

事業費枠の関係でそうなっているが、今年は町村にも進めて行きたいし、そうしなければならぬと思う。

今 トシさん(喜良市)

青少年の非行など青少年問題が社会問題となつてきている。青少年のエネルギーを分散させる場、例えば研修施設とかの不足などもその一因となつているのではないか。

## 知事

おっしゃる通りだと思います。これからもそういう施設の整備には力を入れて行きたい。

西沢 トミさん(金木)

やはり青少年の非行、暴走族などの問題ですが、このような問題の防止には、家庭教育、母親教育が最も大切だと思う。そういう意味でも婦人会活動の拠点である婦人会館の整備が必要だと思います。

## 知事

前者と同様に力を入れて行きたい。

秋元 洋子さん(金木)

子供の遊び場等が最近不足になつていと思う。遊び場等を建設するのならば補助は出るものなのか。

## 知事

どこの町村からもこのような要望があります。都市計画のある場合は補助事業として実施できる。

吉田 登志一さん(蔭田)

米価決定の根拠があいまいである。物価指数等を利用するとか、明確化すべきだと思う。又、安全多収、味のよい米、よく売れる品種の育成に力を入れてほしい。

## 知事

趣旨はよく理解できるが、非常にむずかしい問題である。品種はむつかわりなど、開発に努めているが、今後もより一段と努力したい。

三上 和子さん(金木)

教員勤務地居住が少なく、校外指導上支障がないだろうか。そのためにも教員住宅をつくっては……。

## 知事

教員住宅などつくってもはたして入る人がいるだろうか。



第31回知事と語るつどい

# 第31回知事と

**西村 晃一さん**（喜良市）  
 転作奨励金が打ち切られることはないか。

## 知事

国が約束して転作を進めている以上、補助金の打ち切りは考えられない。

**土岐 和子さん**（嘉瀬）

米の消費拡大のため完全米飯給食を進めてほしい。

## 知事

現在、週二回となっているが、それ以上国の補助金が出ないことになっている。しかし国に対する働きかけは続けて行くつもりだ。

**葛西 照光さん**（金木）

雇用機会の増大、畜産、商工振興のため、町では、ばんえい競馬の開設を希望しているが、見通しは……。

## 知事

競馬場開設には採算がとれるかどうかが一番問題になると思うが、いずれにしても県ではこの問題に対して、現在中央の調査機関に

調査を依頼しているの、その結果を見て慎重に対処する考えである。

**秋元 和雄さん**（金木）

町では公共用地取得が困難なため、弘大用地の払下げを働きかけているが、払下げ価格が町の財政規模ではあまりにぼう大であると聞きます。県でも何か方法を講じられないものか。

## 知事

長い間の懸案だが、解答できる状況にない。しかし相談には今後ものる。

**中谷 ミツさん**（川倉）

生活改善を進めるために研修施設が必要である。

## 知事

工夫して既設の施設を利用して頂きたい。

**中谷 義光さん**（金木）

陸連行政について知事の権限を強めてほしい。

## 知事

検討させてほしい。

**棟方 兼夫さん**（喜良市）

東北新幹線、東北自動車道、新青森空港など、高速交通時代に入っているが、当地域は、これらの施設から遠隔の地にある。せめて五所川原から浪岡インターまで高速有料道路をつくって頂けないものか。又、岩木川上流にもう一つダムをつくる必要があると思う。

## 知事

現在、これらの施設まで一時間程度のもので、そう不便ではないと思うが、道路整備の枠内で考えたい。又、ダム建設もその方向に進んでいる。

**伊藤 美代さん**（喜良市）

保育所にも送迎バスを使えないものか。

## 知事

町長さんとよく相談してほしい。

# 『参加と行動』 誓う

## 指導者養成へ安全大学

「交通事故防止はリーダーの学習から」と七月二十四日、中央公民館で西北五地方では初めての「交通安全大学」が開かれました。これは金木地区交通安全協会（今与八郎会長）が主

講師の話に熱心に耳を傾ける参加者



催し、津軽北部四町村の役場担当職員、学校の生徒指導教諭をはじめ各関係機関のリーダーら約百二十人が生徒として参加。県警本部などから派遣された講師の話に熱心に耳を傾けた。

今回の「大学」開設は、安全思想の普及徹底の実を上げるため中核的リーダーの養成を目指して計画されたもので、開校式では、吉

見善七副学長（金木警察署長）が「相変わらずの死亡事故発生パターンで、地域をあげての防止活動が急務である」とあいさつ。次いで北山真澄県警交通部参事官、盛清吾交通安全対策室長が、取り締まりや行政サイドから安全教育の必要性を説きました。

続いて講話に入り、午前中は原田昭県警交通企画課長補佐と徳差健三郎元青森市立長島小学校長が、それぞれ「現下の交通情勢について」「子どもの交通事故防止について」と題し、安全に対する社会、家庭教育の問題点を指摘。「積極的な参加と行動を」また「親自身が自らの姿勢を正せ」

と呼びかけました。

講話のあとは、会場で質疑応答が行われましたが、出席者からは「毎年こうした学習の場を設けて欲しい」「運動に対する自信を失いかけていたが、活を入れられた思いだ」といった声

# くれぐれも安全に

## 女性バイク競技会

金木地区交通安全協会と金木警察署共催の女性バイク安全運転競技大会が七月十九日に金木自動車学校で開かれ、管内各支部から六

チーム、約四十五人の女性ドライバーが参加し、運転技術や運転マナーを競いあいました。

このところ買い物や農作業に出かけるため、バイクを運転する女性が増え、これが事故につながるケースも増えていることから、運転技術や交通道徳を向上させ、交通事故を一掃しようとのねらいから行われたものです。

競技はまず三十分間の学科テストからスタート。次いで川倉支部の泉谷加千子

が出され、受講者の反響は上々でした。

最後に吉見副学長から受講者代表の相馬京子さん（金木地区交通安全母の会会長）に修了証が授与されました。

さんが「交通安全精神にのっとり、正々堂々と競技すること誓います」と力強く宣誓、実地テストに入り

ました。実地では、各選手とも背番号とヘルメットを身につけ、真剣な表情でハンドルを握っていました。

入賞者は次のとおりです。

- 個人の部
- 一位 葛西富美江（五林）
- 二位 泉谷加千子（川倉）
- 三位 蝦名 トミ（金木）
- 四位 今 久美（五林）
- 五位 古川富士子（ク）
- 団体の部
- 一位 中里五林チーム
- 二位 川倉チーム
- 三位 中里宮川チーム

ハンドルを握る手も真剣に



税のはなし

◆お酒や品物にかかる税金

私たちの日常生活に深いかかわりのある身近な税金としてお酒やその他の品物にかかる間接税があります。そこで、間接税の主なものである酒税と物品税について説明しましょう。

(酒税)

清酒・ビール・ウイスキーなどの酒類にかかる税金で、製造工場から出荷されるときにその数量に税率をかけて計算します。また、値段の高いお酒については、出荷価格に税率をかけて計算します。

(物品税)

宝石や自動車、ゴルフ用品などの品物で一定額以上の物にかかる税金です。

取引の形態によって宝石など小売の段階でかかるものと、自動車など製造工場から出荷されるときにかかるものがあります。  
(仙台国税局・税務署)

◆料理飲食等消費税とは？

みなさんが、バーやスナック、レストラン、すし屋などで、お酒を飲んだり、料理を食べたとき、また、旅館やホテルなどに宿泊したときは、料理飲食等消費税という県の税金がかかります。

この税金は、飲食料金や宿泊料金の十パーセントになりますが、料金と一緒にお店や旅館に支払うことになっています。

このとき、みなさんが税金を支払ったしるし、また、お店や旅館の経営者が、税金を受けとったしるしとして、公給領収証が発行されます。

公給領収証には、飲食した内容が正しく記載され、明細が良くわかるようになっており会計上のトラブルが起きないように工夫されています。また、ご負担いただいた税金は、誤りなく県へ納入されます。

公給領収証は必ず受けとりましょう。

(五所川原県税事務所)

税のはなし

事故防止に願い込め

カラオケ大会

もちつき大会



.....自慢のノドを披露する出場者

この大会は、年々増加の一途をたどる交通事故の撲滅と交通安全意識を呼びかける為にと、同指導隊が一案をこころじたものです。この日午前十時から中央公民館前で、交通安全母の会や交通安全協会、安全運転管理者協会などからの応援を得て、信号にみたてた三色のモチをつき上げ、

各地で夏の交通安全運動たけなわですが、当町でも七月二十六日、金木地区交通指導隊(今与八郎総隊長)主催の交通安全祈願カラオケ大会ともちつき大会が、中央公民館において盛大に催されました。

この大会は、年々増加の一途をたどる交通事故の撲滅と交通安全意識を呼びかける為にと、同指導隊が一案をこころじたものです。この日午前十時から中央公民館前で、交通安全母の会や交通安全協会、安全運転管理者協会などからの応援を得て、信号にみたてた三色のモチをつき上げ、

道ゆくドライバー一人一人に「事故を起こさないように、どうか安全運転を」と呼びかけながらプレゼントしました。  
引き続き午後からカラオケ大会が開かれ、ノドに自慢の出場者たちは、交通安全と書かれたたすきをかけ熱唱し、盛んな拍手を浴びていました。また、暴走族を取り扱った映画を鑑賞、改めて暴走運転の恐ろしさをかみしめていました。  
カラオケ大会の入賞者は次の通りです。

- 三位 三上 金春(中里)
- 四位 中村たい子(〃)
- 五位 小田原幸雄(〃)
- 六位 山田 民子(相内)
- 七位 荒井 健一(金木)
- 八位 今 ひで子(〃)
- 九位 野上 祐造(内湯)
- 十位 高松 久治(金木)



もちつきに精を出す関係者

暴走行為をさせない  
見に行かない  
★見つけしだいスグ通報を!

# 地域活動の前進誓う

## 北郡社会福祉大会



者約三百五十人が集って北郡社会福祉大会が開かれまし

が謝辞を述べました。当町の受賞者は次の通りです。

御詠歌大和講金木支部  
▽表彰状 岩村象太郎、古川明美、三浦禪雄、秋元金

## 自然休養村管理センター

### 地鎮式行われる

さる八月四日、芦野公園内にある歴史民俗資料館となりにおいて自然休養村管理センターの地鎮式が挙行されました。

同センターが完成することによって、これまで進め

から総事業費約七億円で、自然休養村整備事業を進めています。この管理センター建設で、すべての事業が完了となりま

てきた自然休養村整備事業の管理運営の拠点となるほか、観光面でも大いに活用されるものと期待されています。

工事の安全を願う関係者

### 選挙人名簿の定時登録について

毎年九月一日現在で、選挙人名簿に登録される資格を有する人を調査し、九月二日に登録することになっております。

#### ▼年令要件

昭和三十六年九月二日以前の出生者

#### ▼登録日

昭和五十六年九月二日

#### ▼縦覧期間及び場所

昭和五十六年九月三日から九月七日まで  
(毎日午前八時三十分～午後五時まで)  
金木町役場  
選挙管理委員会室

地鎮式には田中町長をはじめ関係者約三十人が出席し、神事が厳かに執り行われたあと、田中町長らがくわ入れと玉ぐしを奉典し、工事の安全を祈願しました。



## 国保連合

### 会長賞を受賞

このほど第七十一回青森県国民健康保険団体連合会通常総会が青森市で開かれ、当金木町国保運営協議会会長沢田茂氏と今久米雄委員が昭和五十六年度国保運営委員の部で、国保連合会長賞を受賞されました。

沢田茂氏は永年町議会議員として、又国保会長として国保の運営に当たり、県内ではすばやく高額療養費の貸付金制度の制定に貢献、又今久米雄氏は長期間にわたり町議会議員と国保運営委員として国保の発展に尽されました。

写真右 沢田茂氏



ご存じですか

「遠距離電話は料金が高くて……」などと悩んでいらっしゃる方に朗報です。今年八月から五百キロを超える遠距離電話の通話料が値下げされました。それにともない、五百キロ以上の遠距離通話料の夜間深夜割引料金も値下げになります。

遠距離通話料が

引き下げられました

五百キロを超える、いわゆる遠距離の通話料が次のようにかわりました。

五百キロ以上七百キロまでの三分間の通話料は、昼間改正前は六百円だったものが五百二十円になり、七百五十キロ以上では、七百二十円が六百円に変わりました。

話料で、割引率は約四割です。ですから、夜間割引、深夜割引などとあわせると、終日割引料金で電話がかけられるということになります。

なお、これらの割引はダイヤル通話のみで、一〇〇番申し込みによる通話料は対象になりませんのでご注意ください。



日曜・祝日割引

日曜・祝日の昼間(午前八時～午後七時)の通話料が割引になりました。

割引の対象となるのは、六十キロを超える地域の通

くらしの

百科 ①

乗り物酔いは、正式には動揺病といえます。内耳にある三半規管と前庭とが平衡感覚をつかさどっていますが、乗り物の揺れが激しいと調節できなくなり、自律神経が混乱します。これが乗り物酔いです。赤ちゃんほとんど酔い

ませんが、四～五才くらいになると酔う子が増え始め壮年期になるにつれて酔わなくなり、老年期になって体が弱くなると酔うようになります。しかし、すべての人がこのような傾向をたどるといいうわけではなく、体質にもよります。酔わないためには普段の訓練が大切です。人によってはバスには強いがタクシーには弱

乗り物酔いを防ぐには

酔わない乗り方は、暗示と自信を持たせることです。次のことに注意しましょう。

- 寝不足、胃腸の調子が悪いなど、体のコンディションをよくととのえる。○空腹はかえってよくありません。消化の良いものを軽く食べましょう。○バスなどは運転手に近い席、船では横になった方がよい。○なるべく遠景をながめ、くよくよ酔うことは考えないように。○どうしても自信のない人は、一時間くらい前に酔い止めの薬を飲む。

戸籍の窓口

おめでとう

- 今 昇子(清作)喜良市
- 白川 純子(勝治)金木
- 其田 知志(忠佳)川倉
- 秋元 惠美(進)
- 津田 正哉(一志)嘉瀬
- 原田 裕子(正光)中柏木
- 沢田ゆかり(修治)嘉瀬
- 秋谷 有香(修二)金木
- 小松 一統(享)嘉瀬
- 棟方 裕也(次男)喜良市
- 一戸 俊也(彰)金木
- 嶋島 健治(一治)嘉瀬
- 浅利 知明(正光)川倉

おしあわせに

- 中谷 寿人(信次)金木
- 鳴海えり子(幸治)嘉瀬
- 沢田 佳奈(信作)金木
- 鎌田 祐輔(二広)嘉瀬
- 棟方 希(周一)喜良市
- 神島 美穂(鉄三)嘉瀬
- 小野 智史(賢一郎)金木
- 沢田 牧江(茂秀)
- 白川 千夏(郷文)川倉
- 鈴木奈津子(英明)嘉瀬
- 前田 佳澄(清)金木
- 杉山 奈月(悟)中柏木
- 山田 寛子(英幸)金木
- 小松 幸太(久)嘉瀬
- 小山内正樹(正一)藤枝
- 鳴海雄一郎(真也)嘉瀬
- 伊丸岡 恵(貢)喜良市

おくやみ

- 竹内智三郎(一郎)藤枝
- 木村 照美(俊男)三重県
- 奈良 武雄(龍雄)北海道
- 吉崎さち子(民弥)嘉瀬
- (加藤 泰視(弥左衛門)喜良市
- 鈴木 春美(春雄)神奈川
- 佐藤 哲男(清)岩手県
- 白川 節子(兼太郎)川倉
- 鳴海 博明(武雄)嘉瀬
- 桜井よし子(辰次郎)茨城県
- 工藤 俊一(源次)藤枝
- 宮田 敏子(鉄郎)板柳町
- 浅利 正彦(勇太郎)川倉
- 菊地 里美(常太郎)五所市
- 中山 敬一(与助)秋田
- 秋庭かほる(フサ)金木
- 工藤 彰(兼四郎)川倉
- 長谷川ゆう子(清志)木造町
- 吉岡 稔洋(永作)福島
- 野宮 恵子(雄造)金木

- 片山 宣彦(修三)兵庫
- 楠美 昌子(留三郎)金木
- 鳴村 賢一(賢次)神奈川
- 氣仙 裕子(豊衛)金木
- 三上 健一(喜代吉)青森
- 伊藤さい子(与四郎)嘉瀬
- 徳田 兼光(雄吉)五所市
- 古川 静子(藤作)
- 平出 健宏(千加良)神奈川
- 今 スミエ(武男)川倉
- 小野 一秀(二蔵)中里町
- 角田 清子(影三)金木
- 対馬 弘明(稔)静岡
- 和子(豊治)金木
- 今 トミエ(62才)喜良市
- 山中 金吾(59才)嘉瀬
- 田中英三郎(80才)川倉
- 阿部 キワ(57才)嘉瀬
- 平井 トミ(75才)
- 千葉 満(8才)藤枝
- 秋元竹四郎(71才)金木

# お知らせ

## 住宅金融公庫 財形住宅融資のご案内

住宅金融公庫では、財形貯蓄をしている勤労者（3年以上行い、その残高が50万円以上ある方）を対象に財形住宅融資の借入申込みの受付を行っています。この融資は、公庫の一般個人住宅融資などとあわせて利用することができます。

申込受付期間

昭和57年2月27日まで

融 資 額

財形貯蓄残高の3倍

利 率

年7.98%（この金利は、昭和56年7月1日の金利です）

返済期間

新築住宅—木造…25年以内、簡易耐火構造…30年以内  
耐火構造…35年以内

中古住宅—20年以内

住宅改良—10年以内

返済方法

元利均等毎月払い（ボーナス払いの併用もできます。）

※詳しいことは、公庫業務取扱金・融機関または住宅金融公庫へ

## 青森県 観光写真コンテスト

題 材

- (1)青森県内の国立、国定、県立自然公園等の自然景観
- (2)風物、年中諸行事
- (3)文化財、史蹟
- (4)郷土芸能
- (5)民 芸 品

応募締切り

昭和56年10月31日

応 募 先

青森市長島1丁目1の1  
青森県観光課内、青森県観光写真コンテスト係

☎0177-22-1111内線4176

## 昭和56年度2次 2等陸・海・空士の募集

募集期間

昭和56年9月30日まで

応募資格

18才以上25才未満の日本国籍を有する者で中学校卒業程度の学力を有する者

試験期日

受付時に通知します

試 験 場

自衛隊青森地方連絡部  
五所川原募集事務所  
五所川原市末広町29の4



## 嘉瀬財産区 並びに 喜良市財産区議会議員選挙

9月17日をもって任期満了する嘉瀬財産区並びに喜良市財産区議会議員の選挙を次の通り執行します。

投 票 日

9月11日（金）

投票所・開票所

嘉瀬財産区（嘉瀬公民館）

喜良市財産区（喜良市小学校）

選挙権者

大字嘉瀬及び大字喜良市の財産区の区域内に住所を有し、公選法第19条に規定する永久選挙人名簿に登録されている者

議員の定数

嘉瀬財産区議員 8名

喜良市財産区議員 10名

立候補届出の受付日時、場所

9月4日、5日（2日間）

午前8時30分～午後5時まで

金木町役場

**ありがとうございます**

## カラオケ大会の益金を寄託

金木地区交通指導隊（今与八郎総隊長）では、交通安全祈願カラオケ大会での益金38,508円を金木署管内の交通遺児の方々に役立てて下さいと役場に寄託しました。

## 丹前下10枚を寄贈

金木高等職業訓練校（太田昌二校長）より、町社会福祉協議会へ丹前下10枚が寄贈されました。



## たばこの吸いがらも ゴミのうち

考えよう！みんな  
なくそうむだなゴミ  
環境衛生週間  
9月21～27日

## 共同募金運動

期間 10月1日～10月31日  
主催 青森県共同募金会金木分会